

## 食品に含まれるアレルゲンの変性、低アレルゲン化と アレルゲンコンポーネントに関する検討に関する研究

### 1. 研究の対象

あいち小児保健医療総合センターで食物アレルギーと診断された確定診断された方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### 目的：

当科では、食物経口負荷試験や詳細な病歴に基づく FA の正確な診断と、加工食品におけるたんぱく質含有量を指標とした摂取可能量の指導を進めています。この食事指導を科学的根拠に基づいて行うためには、食物中のアレルゲンたんぱく質を同定し、さらにそれに対する抗体の反応性が、加工食品中でどのように変化しているかを知る必要があります。本研究の目的は、食物中の主要アレルゲンの同定、及び加工食品中のアレルゲンの存在状態とその消化性について検討することです。さらに、患者の加工食品摂取時の症状と特異的 IgE 抗体の反応性を照合し、食物アレルギーの正確な診断及び食事指導の一助とすることです。

#### 方法：

名古屋学芸大学及び京都大学へ、診療時に採血した際に残った血液を郵送し研究を行います。名古屋学芸大学管理栄養学部食品栄養学教室では、主として加工食品におけるアレルゲンの変化について検討します。対象食品より抽出したたんぱく抗原を用いて、血清を用いたイムブロット、消化実験等を行います。京都大学農学研究科では、精製抗原又はリコンビナント蛋白を用いたアレルゲンコンポーネントを作成し、ELISA、イムブロット、イムノキャップ法などを用いて患者血清特異的 IgE 抗体との反応性を分析する。

#### 研究期間：

2015 年 8 月～2020 年 3 月までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

**試料：**臨床上必要な採血の際に血清を同時に確保します。現在既に保存されている過去の残血清も使用します。

**情報：**血清採取時年齢、性別、食物抗原内容とその診断根拠(食物経口負荷試験結果、病歴等)、血清採取日時、総 IgE と特異的 IgE 抗体値、合併アレルギー疾患等。

個人情報個人が特定されないよう匿名化を行い、あいち小児保健医療総合センターにて厳重に管理します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

連結可能な状態で匿名化を行い、試料・情報は、名古屋学芸大学管理栄養学部食品栄養学教室、京都大学農学研究科に郵送します。連結表はあいち小児保健医療総合センターにて厳重に保管します。

## 5. 研究組織

### 1. 研究責任者（所属・職名・氏名）

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科医長 松井照明

### 2. 共同研究者（所属・職名・氏名）

あいち小児保健医療総合センター

副センター長兼総合診療科医長 伊藤浩明

アレルギー科医長 杉浦至郎

総合診療科医長 高里良宏

アレルギー科医師 田島巖、田上和憲、小野 学、田嶋直哉、北村勝誠  
牧野篤司、坂井聡、國崎純、大林浩明

### 3. 研究協力者

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科秘書 中里友美

### 4. 研究事務局（機関の名称・住所・連絡先）

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科

愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

0562-43-0500

### 5. 共同研究施設

名古屋学芸大学管理栄養学部食品栄養学教室

教授・和泉秀彦

助教・榎村春江

客員研究員・田中賀治代

京都大学大学院農学研究科 農学専攻 品質設計開発学分野

丸山伸之

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

**あいち小児保健医療総合センター**

部署名 アレルギー科 担当者名 松井照明

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

**研究責任者：**

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科医長 松井照明

**研究代表者：**

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科医長 松井照明